



サーブを体験。栗原選手のダイナミックなサーブを目の前に、会場からはどよめきが起こりました。

子どもたちが恐る恐るサーブレシーブをする一方、指導者たちは子どものように目を輝かせ、嬉々としてサーブを受けていました。

最後に、サイン会と写真撮影を行い、教室は終了。退場する栗原選手には、感謝の意を込めて惜しみない拍手が送られました。

○栗原選手から子どもたちへメッセージ

気持ちがあつすぐで、目をキラキラさせてボールを追いかける子どもたちの姿を見て、今日教室をやつて、本当に良かったなと思えました。

今まで色々なことがありましたが、『バレーボールが好き』という気持ちでここまでやってきました。

バレーボールに限らず、何事にも『好き』という気持ちを大事に取り組んでもらいたいです。

○終わりに

今回、大変貴重な経験をした子どもたち。この教室を実現してくれた方々への感謝の気持ちを持ち、栗原選手から見聞きした全てのことを、今後に生かしてほしいです。

